

犬笛 (1978)

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 日本
色彩 Color
時間 139分
初公開日 1978/04/01
公開情報 東宝

【解説】
西村寿行の同名長編小説をもとに「雨のめぐり逢い」の菊島隆三と「戦後猟奇犯罪史」の金子武郎が脚本、「日本の首領（ドン） 野望篇」の中島貞夫が監督を務めたサスペンス作品。撮影は「二人だけの朝」の斎藤孝雄、音楽は「HOUSE ハウス」の小林亜星が担当した。最愛の娘を誘拐された男が、愛犬とともに娘を探す旅に出る。
秋津四郎・順子夫妻の七歳になる娘の良子が誘拐された。心労から発狂した妻の順子を残し、職も投げ打った四郎は、愛犬の鉄とともに娘を追い始める。良子の聴覚には異常があり、常人では聞くことができないゴルトンホイッスル（犬笛）の音が聞こえるのだった。自分が吹く犬笛の音を聞いた良子が、首から下げたホイッスルを吹き、それを鉄が聞き取るのではないか。四郎は犯人による罠や身に迫る危機を避けながら、捜索を続けるのだったが…。

【クレジット】
監督 中島貞夫
製作 三船敏郎 Toshiro Mifune
田中寿一
伊藤満
原作 西村寿行 「犬笛」
脚本 菊島隆三 Kikushima Ryuzou
金子武郎
撮影 斎藤孝雄
美術 植田寛
編集 阿良木佳弘
音楽 小林亜星
助監督 中島芳人
出演 菅原文太 秋津四郎
酒井和歌子 秋津順子
松下実加 秋津良子
北大路欣也 小西刑事
三船敏郎 Toshiro Mifune 村田船長
原田芳雄
竹下景子